

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場取引所 大

上場会社名 アンドール株式会社

コード番号 4640 URL <http://www.andor.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 笹淵裕司

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 西脇博久

TEL 03-3243-1711

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	588	3.7	70	△9.2	89	△0.0	55	△32.3
24年3月期第1四半期	567	28.5	77	263.7	89	234.4	82	66.9

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 33百万円 (△55.6%) 24年3月期第1四半期 74百万円 (67.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	10.80	—
24年3月期第1四半期	15.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,776	1,084	61.0
24年3月期	1,837	1,066	58.1

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 1,084百万円 24年3月期 1,066百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成24年8月3日)公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,137	2.2	127	0.8	146	0.9	88	△28.9	17.07
通期	2,500	6.5	250	6.9	260	7.2	170	△22.0	32.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	5,184,140 株	24年3月期	5,184,140 株
25年3月期1Q	5,121 株	24年3月期	5,121 株
25年3月期1Q	5,179,019 株	24年3月期1Q	5,180,019 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、東日本大震災からの復興関連特需などを背景に回復の兆しが見られるものの、長引くヨーロッパ諸国の債務問題や中国経済の減速などの影響により、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、自動車、工作機械、通信、さらに新たな成長が望まれる医療分野においても設計の礎となるCAD設計から、アプリケーションソフト開発そしてアフターサービスでの保守運用に至るまで総合エンジニアリングサービスを展開し、多様化するお客様のニーズにお応えする事業を推進しております。

当第1四半期連結累計期間につきましては、売上高は588,855千円（前年同期比3.7%増）となり、営業利益が70,378千円（前年同期比9.2%減）となりました。経常利益は89,020千円（前年同期比0.0%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間より繰越欠損金の解消に伴い税金が発生することになり、法人税、住民税及び事業税22,127千円、法人税等調整額11,473千円を計上した結果、四半期純利益は55,924千円（前年同期比32.3%減）となりました。

セグメントごとの業績は下記のようにしております。

I プロダクツ事業

自社の開発商品であるソフトウェア、附帯するハードウェア機器を販売し、導入・保守・運用を行っております。

パッケージソフト開発・販売としては、2次元CADソフト「CADSUPER FXⅡ」ならびに「CADSUPER Lite」、3次元統合CADシステム「CADSUPER Works」、「シンククライアントCADシステム」に対応した製品等を主力商品として取り扱っております。

システム商品販売としては、仕入商品の販売で、お客様のニーズに適合するシステムを提供することによりお客様指向、問題解決指向型の提案営業に努めるソリューション営業を行っております。

導入運用サービスとしては、自社製品販売に伴う導入・保守・運用・サポート収入が主体であります。

この事業の売上高は149,426千円（前年同期比29.7%増）となり、営業利益は52,838千円（前年同期比69.3%増）となりました。

II エンジニアリングサービス事業

企業での生産プロセス全般にわたり豊富な実務経験を持った技術者がシステムの受託開発からアウトソーシングサービス、製造分野での効率化を図るコンサルティングサービスやCADとソフトウェアの技術の利点を生かしての総合エンジニアリングサービスを行っております。

この事業の売上高は433,237千円（前年同期比2.9%減）となり、営業利益は14,005千円（前年同期比67.4%減）となりました。これは業務拡大を見据えて、採用の強化の一環として技術系新卒者30名を採用し、第1四半期はその新人の教育・育成の人的投資を集中的に行ったことにより、一時的に収益に影響が出た為であります。

III 不動産事業

不動産の賃貸料を売上高に計上しております。

この事業の売上高は6,191千円（前年同期比3.8%減）となり、営業利益は3,534千円（前年同期比7.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、投資有価証券の増加(266,751千円から268,858千円へ)2,106千円があったものの、現金及び預金の減少(544,800千円から518,689千円へ)26,110千円、受取手形及び売掛金の減少(422,552千円から396,142千円へ)26,410千円、繰延税金資産(流動資産)の減少(23,891千円から12,153千円へ)11,738千円等により、前連結会計年度末に比べ60,161千円減少の1,776,990千円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の減少(127,302千円から82,587千円へ)44,715千円、未払法人税等の減少(55,119千円から22,597千円)32,522千円等により、前連結会計年度末に比べ77,745千円減少の692,925千円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の減少(52,036千円から29,233千円へ)22,802千円、配当金の支払による15,537千円の減少があったものの、四半期純利益の計上55,924千円により、前連結会計年度末に比べ17,584千円増加の1,084,064千円となり、自己資本比率は61.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月16日に公表いたしました平成24年3月期決算短信のとおりであります。

当期の業績予想については、修正を行っておりません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来の予想に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、当第1四半期連結会計期間において、新たに取得した有形固定資産はないため、損益に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	544,800	518,689
受取手形及び売掛金	422,552	396,142
有価証券	8,084	8,173
仕掛品	1,134	4,094
貯蔵品	5,025	5,025
繰延税金資産	23,891	12,153
その他	92,804	89,774
流動資産合計	1,098,292	1,034,052
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	132,980	131,883
土地	189,346	189,346
その他(純額)	2,532	2,364
有形固定資産合計	324,859	323,595
無形固定資産		
のれん	31,157	28,560
ソフトウェア	55,656	48,580
ソフトウェア仮勘定	4,362	9,057
その他	3,219	3,219
無形固定資産合計	94,396	89,418
投資その他の資産		
投資有価証券	266,751	268,858
破産更生債権等	698	698
長期貸付金	410	395
繰延税金資産	18,551	25,390
その他	41,689	43,080
貸倒引当金	△8,498	△8,498
投資その他の資産合計	319,603	329,924
固定資産合計	738,859	742,937
資産合計	1,837,151	1,776,990

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	127,302	82,587
短期借入金	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	55,440	55,440
未払法人税等	55,119	22,597
前受金	70,898	52,053
賞与引当金	42,543	23,143
その他	77,911	130,014
流動負債合計	459,214	395,835
固定負債		
長期借入金	176,130	162,270
繰延税金負債	3,098	—
退職給付引当金	123,346	125,248
役員退職慰労引当金	7,297	7,871
その他	1,584	1,699
固定負債合計	311,456	297,089
負債合計	770,670	692,925
純資産の部		
株主資本		
資本金	501,889	501,889
利益剰余金	513,462	553,849
自己株式	△907	△907
株主資本合計	1,014,444	1,054,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52,036	29,233
その他の包括利益累計額合計	52,036	29,233
純資産合計	1,066,480	1,084,064
負債純資産合計	1,837,151	1,776,990

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	567,944	588,855
売上原価	404,503	422,734
売上総利益	163,441	166,120
販売費及び一般管理費	85,956	95,742
営業利益	77,485	70,378
営業外収益		
受取利息	136	112
受取配当金	619	1,319
固定資産賃貸料	80	195
持分法による投資利益	11,810	17,832
雑収入	62	121
営業外収益合計	12,708	19,580
営業外費用		
支払利息	1,166	937
営業外費用合計	1,166	937
経常利益	89,028	89,020
特別利益		
投資有価証券売却益	2,916	598
特別利益合計	2,916	598
特別損失		
投資有価証券売却損	—	94
特別損失合計	—	94
税金等調整前四半期純利益	91,944	89,524
法人税、住民税及び事業税	5,956	22,127
法人税等調整額	3,367	11,473
法人税等合計	9,323	33,600
少数株主損益調整前四半期純利益	82,621	55,924
四半期純利益	82,621	55,924

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	82,621	55,924
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,934	△22,802
その他の包括利益合計	△7,934	△22,802
四半期包括利益	74,687	33,121
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	74,687	33,121
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	プロダクツ事業	エンジニアリングサービス事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	115,165	446,343	6,435	567,944	567,944
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	115,165	446,343	6,435	567,944	567,944
セグメント利益	31,208	42,999	3,277	77,485	77,485

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	プロダクツ事業	エンジニアリングサービス事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	149,426	433,237	6,191	588,855	588,855
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	149,426	433,237	6,191	588,855	588,855
セグメント利益	52,838	14,005	3,534	70,378	70,378

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。